

薬剤師になりませんか

薬剤部長 小森谷 友宏

高校生の体験看護実習や中学生の職場体験で中高生が多数労災病院を訪れます。しかし、私が当病院に転勤してから将来薬剤師になりたい中高生に出会いません。そこで、薬剤師の病院での仕事と薬剤師になる為の順序を紹介いたします。

病院インフォメーションに実務実習受入施設の許可証が掲示しており薬科大学5年生が11週間に渡り実習を行っています。今年度も3名の大館出身の薬学生が学びに来ています。薬学教育が6年制になり少し敷居が高くなっていますが4年制より臨床薬学に対する講座が充実しより教育の質を高めています。薬剤師になるには高校卒業後薬科大学に入学し6年制を卒業し国家試験に合格する必要があります。6年制に移行する時期に新設私立薬科大学も出来東北地区でも3大学が増えました。広き門になりました。

薬剤師の就職先も多岐にわたり、私たちのような病院薬剤師、調剤薬局に勤務する保険薬剤師、また製薬会社のMR（医薬情報担当者）や公務員変わったところでは麻薬Gメンや警察の鑑識課や自衛隊薬務官などにも就職できます。病院薬剤師の仕事について少し紹介しますと、入院患者さんの内服・注射調剤、入院患者さんの持参したお薬の鑑別、抗がん剤や高カロリー輸液の調製、入院患者さんへ直接お薬の内服指導やお薬の効能・効果、用法・用量の説明も行います。最近では病棟に専任の薬剤師を配置して病棟の薬剤業務すべてを網羅するよう努力しています。

私たちの年代が就職した時代から大変様変わりして入院患者さんの側で薬の専門職として医療の現場に携われるようになりました。医師や看護師のようにドラマに出る職種ではないですがこれから益々注目を浴びる職業になると思います。

どうです薬剤師になりませんか？お子さんやお孫さんにすすめてみませんか。

秋田労災病院ホームページには薬剤部の紹介も載っていますぜひご覧ください。

